

2020年12月18日

受益者様へ、

ファイブスター投信投資顧問株式会社

為替操作国と認定されたベトナム 今後の展望

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素はファイブスター投信投資顧問株式会社及び弊社ベトナム・ロータス・ファンドをご愛顧いただきありがとうございます。

12月16日、アメリカ財務省によりベトナムが為替操作国と認定されました。現状の分析と今後の展望に関し、レポートを作成致しましたので、ご参考にしていただければ幸いです。

引き続きのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具



為替操作国と認定されたベトナム 今後の展望

アメリカ財務省は 12 月 16 日、スイスとベトナムを為替操作国に認定しました。トランプ政権下で最後となる為替報告書で明らかになりました。米国の為替操作国の判断基準は、

1. 対米経常黒字額が国内総生産（GDP）比 2%以上
2. 対米貿易黒字額が年間 200 億ドル（約 2 兆 700 億円）以上
3. 為替市場への持続的介入、介入の総額が GDP 比 2%以上

のうちの二つを満たすと判断された場合であって、スイスとベトナムはこの基準三つの全てを満たしたものと判断され、為替操作国と初めて認定されました。

ベトナムは為替政策を通貨バスケットに対する管理フロート制で運用していますが、実際には米ドルに対するペッグを行っており、この 10 年程では米ドルに対して緩やかなベトナムドン安で推移しています。新興国にとっては輸出競争力を維持する為には自国通貨安が望ましく、その結果ベトナムでは外国からの直接投資と輸出が毎年目覚しく成長しており、経済発展の重要な要素となっています。

そのベトナムの為替政策に対して、アメリカが警戒するのはある程度予想されていた事であり、これは今から 50 年前の 1970 年に 1 ドル 360 円であった為替がその後の 20 年間に 1 ドル約 130-140 円の円高になった日本になぞらえる事が出来ます。ちなみに、その間の日本株は昭和の高度経済成長を背景に約 20 倍に上昇しました。

トランプ政権からバイデン政権への移行によって外交政策がある程度変化する事も考えられますし、それに伴ってアメリカの貿易・為替政策も新たな方針が打ち出されるでしょうから、今後も注意深くアメリカの政策を見守って行きたいと考えます。現在のベトナムは米国にとって政治経済的に対立する中国を牽制する為の重要な地政学的パートナーであり、闇雲に為替政策でベトナムを苦境に陥れる事はないのではないかと考えます。



- 本資料で使用した指数や経済統計等の数値は、Bloomberg 等のデータに基づき、ファイブスター投信投資顧問が作成したものです。
- 本資料はファイブスター投信投資顧問が情報提供を目的として作成した資料であり、有価証券の購入もしくは売却を勧めるものではありません。また、法令に基づく開示書類では有りません。
- 本資料に記載の内容は、将来の運用成果や内容を保証あるいは示唆するものではありません。
- 本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、ファイブスター投信投資顧問はその完全性・正確性に関する責任を負いません。